

一般質問

本田 哲 議員

# 財政支援を県に強く 要望していくべきでは 「国・県に財政支援は要望していく」

**議員** 4月実施予定の後期高齢者医療制度は、75歳以上すべての高齢者から、埼玉県平均年額9万3990円の保険料が年金から天引きされる。高齢者のくらしを守る立場から、制度中止を国に強く求めるべきではないか。

**福祉部長** 法令にのっとり、この制度のもとでの事務を進めていく。

**議員** 市民への周知徹底

は、どう進めるのか。出前講座で対応するのか。



▲ 制度中止を求める全国の高齢者（厚労省前）

**福祉部長** 1月末より、福祉センター4カ所とコナパルで説明会を開催する。出前講座も要望があれば、出かけて説明する。

**議員** 市長は、広域連合議会議員になるが、保険料の軽減や減免制度の拡充を県に強く要望していくべきではないか。

**市長** 今までも県市長会で、県に対し財政支援を求めてきた。広域連合議員としての立場で、国・県に財政支援は要望していく。

**議員** 保険料を1年間滞納すると、資格証明書が発行される。資格証明書の発行はすべきではないと考えるが。

**福祉部長** 現段階では、広域連合に準じた考えに基づき実施していく。

**橋の改善・拡幅を**  
**議員** 一本橋、眼鏡橋、本村橋の交通量調査の結果を踏まえた今後の計画は。

**都市整備部長** 一本橋については、実施に向け、設計業務を進めていきたい。眼鏡橋や本村橋は、財政状況を勘案しながら、整備について検討していきたい。

召田 厚 議員

## 新学習指導要領が 子ども達に与える影響は

### 「市民の理解を得ながら進めていく」

**議員** ゆとり教育を見直し、学力向上を主眼に置いた新学習指導要領が施行されるに当たり、開かれた教育委員会として、今後どのように周知し、進めていくのか。

① 学力向上のため、授業時数が、小学校1・2年生は約70時間増、3年生から中学生は35時間増となる。夏休みを短縮し、授業時数を何とか確保している現状であるが、今

後どのように確保していくのか。

② 現在進められている自校式給食について、給食センターの建設を含め、どの学校を行っていくのか、計画を伺う。

③ 教師が子ども達と向き合う時間の確保のために設置された「スリム化研究委員会」であるが、その具休策、その成果について伺う。

**教育部長** ① 二学期制導入を見据え、市民に周知

し、理解を得ながら進めていく。

② どのような順番で行うかは考えていない。さまざまな課題を考慮しながら、当面は1年度に1校という方針で順次整備を進めていく。

③ 校務分掌など事務負担については減らしている。今後も、教師が子ども達と接する時間が確保できるように検討する。



▲ パソコンで名刺をつくったよ

### こどもの国 再整備の計画は

**議員** 老朽化が進み、構造上で強度について不安があるとされ、計画もそのままとなっているが、今後の計画について伺う。

**教育部長** 現在、改修・建て替えも含めて検討しており、早ければ今年度中に方向性を示す。



**議員** 本市の税等の収納率向上に対する取り組みで、コンビニ収納については大変好評を得ている。また、昨年11月に自治法が改正され、公金のクレジット決済が可能になった。更なる滞納整理、

**市民生活部長** 現在、県内で導入している自治体はない。初期導入費、手数料の問題があるが、全庁的な課題として議論し

**議員** シンクタンクのコストコミュニケーションで、コスト減との研究結果もある。導入に向けた

**議員** 市民ミュージカル「ザ・リバー」の再公演が行われた。一流の演出により市民が素晴らしい舞台芸術を表現しており、大変感動した。本市を豊かな文化芸術都市にするために市はどのようなサポートをしていくのか。

**議員** 文化振興基本条例や計画を策定して、文化振興のビジョンを



▲感動に包まれた市民ミュージカル「ザ・リバー」

# 公金のクレジットカード決済を可能に

## 「費用対効果を見極めて研究する」

菅原 文仁 議員

**議員** 先進地では、初期導入コストは少額と聞いているが、本市の概算コストは。

**議員** 先進地では、初期導入コストは少額と聞いているが、本市の概算コストは。

**議員** 市民ミュージカルを育てるためのサポートを

**議員** 急速に進む高齢化に伴い、地域の中で支え合う制度として、要介護

て、費用対効果を見極めて研究していく。

調査・研究を要望する。

による支援を継続するとともに、稽古のための公

明確にすることも要望する。

手塚 静枝 議員

# tocoバスの活用 美笹循環車両の変更も 「車両の入れ替え等を検討している」

**議員** 毎年、多額な運行経費補助金を繰り出し、市民の最も身近な足として運行しているtoco（トコ）バスを、もっと活用し、拡充を図るべきではないか。

①公衆浴場福祉入浴券を利用しない方に、同等のサービスとして、tocoバス無料券を提供してはどうか。②高齢者の運転免許自主返納者にtocoバス無料乗車券を提供し、交通事故から守る支援としては。③美笹



▲美笹循環で使用されている8人乗りの車両

循環ワゴン車両を小型バスか移動可能な大型ワゴン

交通弱者とのバランスを考えると、運転免許返納

高年齢者向けファミリーサポート制度の実施を

を踏まえて検討していく。

ン車に変更しては。 **福祉部長** ①福祉入浴券事業に対し、不公平感を持たれることは理解できるが、代替案のtocoバス事業に結びつけることは現段階ではできない。 **市民生活部長** ②市の財政負担が増加している中、受益者負担の観点や、その他の

者だけに限定した事業の実施は難しいと考える。 ③運行開始から5年を迎える来年11月を目途に、利便性や快適性の向上、利用者数の増加などを図る目的で、車両の入れ替え等を検討している。

度が低く、十分な介護サービスが受けられない高齢者と家族を援助するために、高齢者向けのファミリーサポート制度の実施をしてはどうか。 **福祉部長** 本市は、生活援助活動員の家事援助や、シルバー人材センター等のサービス利用をお願いしていることから、サービスの充実を図りながら、今後の市民ニーズ